

93 コンデンサーとコイルで音を変える

(高野哲夫)

- ・ コンデンサーは周波数が高いほど通しやすく、音声電流をコンデンサーに流すと、周波数の低い低音がカットされた音となることをみる。
- ・ コイルは周波数が高いほど通しにくく、音声電流をコイルに流すと、周波数の高い高音がカットされた音となることをみる。

<方法>

- (1) テープレコーダーの音声出力端子から、コンデンサーを経てスピーカーに繋ぐと、低音がカットされてきんきん声となる。
- (2) 前のコンデンサーの代わりに、一部鉄心を除いたトランスを鉄片で調節しコイルとして使うと、高音がカットされた音となる。

<参考文献>

本間明信 やさしくて本質的な理科実験 3
(評論社)

